

SSTG1 Pro®リリースのお知らせ

株式会社カンバスは、SSTG1の後継機種として「SSTG1 Pro」をリリースしました。

<SSTG1Proの特長>

1. 従来のSSTG1に加え、制作会社様向けに様々な新機能を搭載しています。

従来のSSTG1に搭載されているオプションに加え、下記の新機能が搭載されています。

- ① ワーク用の映像ファイル形式に mov(h.264、AAC)、MP4 (h.264、AAC)を追加。
Windowsのコーデックに依存しない新映像再生機構を実装しました。
- ② 逆再生時の音声を、テープを巻き戻す感覚で連続再生できるようになりました。
倍速再生時に音声ピッチが変わらず、会話が聞き取れる倍速再生が可能になりました。
- ③ SSTG1の旧再生機構も搭載しているため、MPEG1で作業する際は、SSTG1+新映像再生機構以外の新機能をご利用いただくことも可能であり、安心してお乗換えいただけます。
- ④ ピッチ調整機能 SSTに搭載されていたピッチ調整機能を復活させました。
- ⑤ 多重起動 SSTG1Proを複数windowで起動可能。ファイル間でハコのコピーもできます。
- ⑥ フォルダ内.sdb検索機能
特定のフォルダ内全ての.sdbファイルの原文もしくは字幕欄を一括検索できます。
- ⑦ 検索属性指定機能（高等編集機能オプションがついている場合のみ）
ルビやフォント、傍点、カーニングなどを一括して付与・変更することができます。
- ⑧ 検索機能の強化
A Bトラック同時検索及びコメント内検索を実現しました。
- ⑨ NETFLIX チェック機能の追加（NETFLIX社に納品する字幕データの仕様となっているかチェック可能となりました。）
- ⑩ 最終チェック機能の追加 余分なスペースや改行、NGワード、セーフティはみ出しなどを一括検出できます。
- ⑪ ベトナム語、ラオ語、ミャンマー語に対応
- ⑫ itt エクスポート機能（ルビ・縦字幕対応は有償）
- ⑬ SMPTE 規格（デジタルシネマ用）のエクスポート機能（有償）
- ⑭ SRT インポート機能（有償）
- ⑮ 校正機能（JustRight!との連動機能・有償）

※①～⑪の機能はNetSSTG1にも搭載されています。

※④⑥⑦⑨⑩の機能は「CANVASs CHANNEL」で解説動画をご覧ください。

https://www.youtube.com/channel/UCo3_QYvhrxBhAgzKmBNE8A

⑨の機能については「Netflix Cap」(有償エクスポートオプション)の解説動画のうちのチェック機能部分(0:33~1:20)をご覧ください。

※SSTG1シリーズの機能比較は本お知らせの末尾をご覧ください。

2. SSTG1Proの今後のアップデート予定

MPEG2形式の映像ファイル再生オプション（有償）をリリース予定です。

3. 既にSSTG1・NetSSTG1をご購入の方は、お乗換えが可能です。

SSTG1・NetSSTG1からの乗換が可能です。お得な乗換価格が適用されます。

詳細は6ページをご覧ください。 ※NetSSTG1からの乗換価格はお問い合わせ下さい。

4. 年間保守加入が必須であり、常に最新のアップデートが提供されます。

年間保守費：34,800円（税抜）／年

※SSTG1Proの台数に応じて割引が適用されます。詳細は6ページをご覧ください。

5. 販売中のSSTG1シリーズで唯一、データコンバート機能を追加オプションで搭載できます。

搭載できるオプションの詳細は<SSTG1シリーズ機能比較>をご覧ください。

6. ソフト初回起動時、及び1年に1度インターネット上でのライセンス認証が必要となります。

原則として1年に1度インターネット認証が必要になります。大量にご購入いただく場合などは別途ご相談ください。

<推奨PCスペック：新再生モード>

OS	Windows8.1/10（日本語／英語） ※Macでの動作保証はしておりません。	HDD 空き容量	10GB 以上
Display	解像度 1366×768 以上	メモリ	4GB 以上 Windows10の場合 8GB 以上
CPU	Intel Core i5 以上 *1		

*1：ただし、下記の型番は性能値が低いため、動作保証対象外となります。

Core i5-430UM / Core i5-4400E / Core i5-470UM

Core i5-520UM / Core i5-540UM / Core i5-560UM

Core i7-620UM / Core i7-640UM / Core i7-680UM

<推奨PCスペック：SSTG1モード>

OS	Windows8.1/10（日本語／英語） ※Macでの動作保証はしておりません。	HDD 空き容量	2GB 以上
Display	解像度 1024×768 以上	メモリ	4GB 以上 Windows10の場合 8GB 以上
CPU	Core 2 Duo 以上		

※SSTG1と同等の推奨PCスペックとなります。この場合、TVチューナー付のPCは避けてください。

<SSTG1Pro ご利用時の留意点>

- ① 新再生機構でスクイーズの映像を通常再生する際、セーフティラインがフラッシングすることがあります。本障害につきましては今後アップデート時に修正予定です。
- ② 新再生機構利用時、キー操作のスピードによっては、再生への遷移、2倍速再生への遷移、逆再生への遷移、2倍速逆再生への遷移の際に、波形上の赤カーソルが止まることがあります。その際は再度、当該操作キーの入力を行ってください。この仕様につきましては、今後設計変更による改善を予定しています。
- ③ MOVの音声コーデックの動作保証は現状AACのみとなります。
- ④ MP4の映像はプロファイルが多岐に渡るため、一部の映像は利用できない場合があります。
- ⑤ プレビュー画面における字幕の位置を、より完パケでの字幕の位置に近づける調整を入れたため、今までのSSTG1（映像再生のDirectShowモード）と比べて字幕位置に関し1ピクセル程度下へのズレを感じる可能性があります（映像が1ピクセル程度上に上がる感覚）。
- ⑥ 今まで23.976fpsの映像ファイルで編集する場合、タイムコードの基本設定で「24Fr」をご選択いただいていたのですが、SSTG1Pro 新再生モードでは「24P」を選択していただければ自動的に23.976fpsか24.00fpsかを判断するようにいたしました。SSTG1モードでは従来通り「24Fr」を選択して下さい。

- ⑦ 23.976fpsの映像ファイルを使用して、SSTG1にて「24Fr」の設定で編集したsdbファイルについては、SSTG1Pro（新再生モード）で開いた際に、「このsdbファイルは24Frで編集されています。新再生モードでは24Pにフレームタイプ変換をして編集してください」というメッセージが出ます。その場合、フレームタイプを「24Fr」から「24P」へと変換してください。

逆に、SSTG1Proで作成した24pのプロジェクト（23.98fpsの映像用）をSSTG1またはSSTG1Liteで編集する場合、フレームタイプを、「24P」から「24Fr」に変換する必要があります。外注の場合など、SSTG1/Liteユーザーにsdbファイルを渡す際には、[ファイル]—[SSTG1用に24Frで保存]を選択し、24Frに変換してから渡すよう、ご注意ください。

- ⑧ sdbファイルやアプリケーションのアイコンを変更していますが、自動で変更されない場合があります。

<旧SSTG1の.sdbファイルアイコン>



→

<SSTG1Proの.sdbファイルアイコン>



SSTG1Proとひも付けを行いたい場合は、sdbファイルを右クリック→[プログラムから開く]→[別のプログラムを選択]にて、「SSTG1Unified」を選択してください。

- ⑨ SSTG1と同様のレンダリング機能(mov非対応)は付属しておりますが、サポート対象外となります。
- ⑩ 音声のサンプリングレートを上げることにより、音圧を細かく表現でき、波形データにより正確性を持たせることができるようになりました。その分、波形データ(wavファイル)のサイズが以前のG1と比較して10倍ほどのサイズとなっております。ストレージのあまりないPCで作業をされる場合には、波形データを定期的に削除することをおすすめいたします。
- ⑪ キャプチャーボードでテープメディアよりキャプチャーした映像に関して、フレームの整合性のとれない映像ファイルが作成される可能性があります。そのような映像の場合、ソフト内で処理を加

えるため、波形ウィンドウ上の映像再生の動作が若干鈍くなる可能性がございます。

- ⑫ DVD Sonic ファイルのエクスポートにおいて、SSTG1 の配色設定を引き継ぐ場合には、下記のファイルを<コピー元>からコピーし、<コピー先>へ配置してください。コピー元は隠しフォルダ(※)のため、ディレクトリを直接指定して開くか、Windows キー+R で「ファイル名を指定して実行」を開き名前にコピー元のディレクトリを入力して実行してください。

ファイル : PorterColor. ini

コピー元 : C:\%Users%\<ユーザ名%\AppData\Local\VirtualStore\Program Files (x86) %SST G1

コピー先 : C:\%Users%\<ユーザ名%\Documents\SST G1 Pro

※隠しフォルダは[コントロールパネル]-[フォルダーオプション]から表示することが可能です。

- ⑬ 新再生機構において、DV コーデックの.avi ファイルや WMV を利用することも可能ですが、現状、1~2フレーム、映像に対して音声後ろにずれる不具合が発生しているため、現時点では AVI 対応、WMV 対応を謳っておりません。本件については現在修正作業を実施中で、mov と同じく対応を謳う予定となっております。
- ⑭ 画角が 720×480(SD)で作成された映像の場合、画面スケールを「101%~109%」で設定すると、映像と字幕がズれる不具合が発生しております。「画面にフィット」ボタンを押した際にもこの数値になってしまうと、発生します。
- ⑮ 新再生機構において1フレーム再生で音が出ない場合、下記の手順で PC のサウンドの設定を変更してください。
- 1) PC のコントロールパネルを開き、[サウンド]-[再生]タブを開く。
 - 2) [サウンド]-[再生]タブに存在している再生デバイス(スピーカーなど)を右クリック→プロパティでプロパティ画面を開く。
 - 3) [拡張]タブを選択し、「すべてのサウンド効果をオフにする」にチェックを入れる。
- ⑯ SSTG1 モード(映像再生の DirectShow モード)でご利用いただける映像フォーマットは、MPEG1、WMV のみです。
- ⑰ Windows のディスプレイ設定でテキストのサイズを「小(100%)」「中(125%)」「大(150%)」以外に設定した場合は、Windows のスケーリング機能(画面や表示領域の広さに合わせて自動的に拡大・縮小する機能)には対応していないため、解像度の大きいディスプレイで表示するとフォントやアイコンの表示サイズが合わず、表示が崩れたり文字が切れたりすることがあります。
- ⑱ mpeg1・WMV を開いた際に、新再生機構でスムーズに再生できない場合、[設定]-[ユーザー設定]-[再生]タブの「MPEG-1 と WMV の映像ファイルには DirectShow を使う」にチェックを入れ、sdb ファイルを開き直すことで自動的に Direct Show (SSTG1 モード)を使って再生が行えます。
- ⑲ SSTG1 Pro は Windows10 の正式サポートを行っておりますが、新再生機構において一部の映像の倍速再生および逆再生・倍速逆再生時に音割れがする問題を確認しており、こちらにつきましてはサポート対象外とさせていただきます。本事象については近々修正版をリリースする予定です。

<お申し込み方法>

- ・CANVASS ホームページから：<https://canvass.co.jp/sstg1series/sstg1pro/>
- ・メールから：sales@canvass.co.jp
- ・お電話から：TEL 03-6811-0806（平日 9:30～17:00）

<新規購入価格>

製品名	価格	本体価格	税込価格	発売日
SSTG1Pro	通常価格	300,000 円	330,000 円	2015 年 6 月
	聴覚障害者情報提供施設向け 特別価格	280,000 円	308,000 円	

<SSTG1 からの乗換価格 (1 台あたり) >

Pro保有台数（新規乗換え分も含む）	割引率	本体価格	税込価格
1台	1	¥198,000	¥217,800
2台～5台	0.9	¥178,200	¥196,020
6台～10台	0.85	¥168,300	¥185,130
11台～20台	0.825	¥163,350	¥179,685
21台～25台	0.8	¥158,400	¥174,240
26台以上	※ご相談ください。		

聴覚障害者情報提供施設向け特別乗換え価格	本体価格	税込価格
常に1台あたり	¥99,000	¥108,900

※SSTG1Pro 保有台数のみによるボリュームディスカウントとなります。SSTG1 など他製品の台数は含まれません。

※聴覚障害者情報提供施設様は特別価格でのご提供となりますのでボリュームディスカウントはありません。

※「Pro 保有台数」には新規乗換え分の台数（その時乗り換える台数）も含まれます。

[例]これまでに Pro を 4 台保有しており、今回 2 台乗り換える場合

4 台+2 台=6 台 → 「6～10 台 ¥168,300/台」を適用

乗換え費用：¥168,300×2 台=¥336,600

<年間保守費（初年度無料）>

SSTG1Pro は保守加入が必須の製品です。

通常価格			
<ul style="list-style-type: none"> ・SSTG1Proを新規導入のお客様（SSTG1ユーザーでなかったお客様） ・SSTG1サポート非加入ライセンスがあったお客様 ・SSTG1全台サポート加入されていたが、2017年4月以降にProを初導入のお客様 			
Pro保有台数	割引率	本体価格	税込価格
1台	1	¥34,800	¥38,280
2～4台	0.95	¥33,060	¥36,366
5～9台	0.9	¥31,320	¥34,452
10台以上	0.85	¥29,580	¥32,538

割引価格			
SSTG1全台サポート加入されていたお客様で、 2017年3月迄にSSTG1Proを1台でも導入済みの場合			
Pro保有台数	割引率	本体価格	税込価格
1台	0.9	¥31,320	¥34,452
2～4台	0.825	¥28,710	¥31,581
5～9台	0.8	¥27,840	¥30,624
10台以上	0.68	¥23,664	¥26,030

※2017年4月以降の保守更新より上記価格が適用されます。

※Pro 保有台数のみによるボリュームディスカウントとなります。SSTG1 など他製品の台数は含まれません。

※SSTG1Pro のご利用を一時中止される場合、 dongle をご返却いただければ保守費の請求はその間ストップします。

※海外のユーザー様は、上記とは異なります。別途お問い合わせください。

<SSTG1 シリーズ機能比較>

(2021年11月現在)

			SSTG1 Pro	NetSSTG1	SSTG1 Lite1	SSTG1 Lite2 ※販売終了	SSTG1 ※販売終了
ドングルの有無			○	○	○	○	○
Net認証機能			△	○	○	×	×
基本機能	編集機能	字幕テキストの入力削除	○	○	○	○	○
		スポッティング機能	○	○	○	○	○
		連続逆再生機能	○	○	○	×	×
		倍速再生の音声ピッチ維持	○	○	○	×	×
		Bトラック	○	○	○	○	○
		字幕番号の振り直し	○	○	○	○	○
		文字のエフェクト (ルビ・イタリック・傍点・組文字)	○	○	○	○	○
		表示位置・行配置の設定	○	○	○	○	○
		多重起動	○	○	○	×	×
		多言語フォントの表示	○	○	○	×	×
		検索機能の強化 (A Bトラック同時検索、コメント検索)	○	○	○	×	×
		sdb 検索	○	○	○	×	×
		ピッチ調整	○	○	○	×	×
		レンダリング機能 (サポート対象外)	△	△	△	×	△
		Netflix用データチェック	○	○	○	×	×
		最終チェック	○	○	○	×	×
	import	見直し用リスト (Excel)	○	○	○	○	○
		台本 (txt)	○	○	○	○	○
		SSTファイル (sdbファイル統合用)	○	○	○	○	○
	export	プロジェクトファイルの保存 (sdb)	○	○	○	○	○
		見直し用リスト (Excel)	○	○	○	○	○
		見直し用リスト (txt)	○	○	○	○	○
		申し送りリスト (Excel)	○	○	○	×	×
		CASTファイル	○	×	×	○	○
		SRTファイル	○	○	○	×	○
		放送用字幕制作ソフト用NABファイル	×	○	○	×	×
		Adobe Encoreフォーマット	○	○	○	×	○
		Apple DVD Studio Proフォーマット	○	○	○	×	○
		Avid Sub Capフォーマット	○	○	○	×	○
Blu-ray CANVASs Sirius Bluフォーマット		○	×	×	×	○	
ittファイル (iTunes用字幕ファイル)		○	×	×	×	×	
WebVTTファイル		○	○	○	×	×	
映像フォーマット	MPEG1	○	○	○	○	○	
	WMV	△	△	△	○	○	
	MOV (h.264, AAC)	○	○	○	×	×	
	MP4 (h.264, AAC)	○	○	○	×	×	
	avi(DV)	△ (予定)	△ (予定)	△ (予定)	×	×	
有料オプション	高等編集機能	フォントエッジの種類サイズカラーの設定	○	○ (無償)	○	○	○
		カーニングレディングの調整	○	○ (無償)	○	○	○
		検索属性指定	○	○ (無償)	○ (無償)	×	×
		文字の自由位置	○	○ (無償)	○	○	○
		フェードインフェードアウト	○	○ (無償)	○	○	○
		マスク	○	○ (無償)	○	○	○
		import	ビデオトロン・ラムダファイル	○	×	×	×
	スクリーンサブタイトルリングファイル		○	×	×	×	○
	EBUファイルのインポート		○	×	×	×	○
	CASTファイルのインポート		○	×	×	×	○
	SRTファイル		○	×	×	×	×
	export	EBUファイル	○	×	×	×	○
		ビデオトロンラムダファイル	○	×	×	×	○
		Netflix Cap	○	×	×	×	○
		スクリーンサブタイトルリングファイル	○	×	×	×	○
		DVD SONIC (シナリスト) フォーマット	○	×	×	×	○
		DVD パナソニックフォーマット	○	×	×	×	○
		Blu-ray SONIC (シナリスト) フォーマット	○	×	×	×	○
		Blu-ray パナソニックフォーマット	○	×	×	×	○
		DV2000 フォーマット	○	×	×	×	○
		CANVASs Open Subtitle file format (ED IUS6等)	○	×	×	×	○
		AAFエクスポート (Premiere Pro2.0 / FinalCut Pro)	○	×	×	×	○
		↳ ED IUS6、6.5、7、8用オプション	○	×	×	×	○
		↳ Avid Media Composer用オプション	○	×	×	×	×
		DLP デジタルシネマ用XMLファイル (TI)	○	×	×	×	○
		デジタルシネマ用XMLファイル (SM PTE)	○	×	×	×	×
	ittファイル (ルビ・縦字幕対応)	○	×	×	×	×	
	IMSC1.1 (TTML2) (W3C仕様準拠 / Netflix社仕様準拠)	○	×	×	×	×	
	TTML1	○ (予定)	×	×	×	×	
	その他オプション	校正機能 ※ジャストシステム社のJust Right5か6と指摘情報出力オプションが必要です	○	×	×	×	×
		SSTC1	×	○ (予定)	○ (予定)	×	×
	独自機能 (有償)	SSTG1 Dub	○	○	○	×	×
		吹替台本作成支援ツール	○	○	○	×	×
	アップデート		年間保守費の範囲内	チケット費用の範囲内	チケット費用の範囲内	なし	終了

※m dbファイルは廃止されました。